



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日

上場会社名 日本紙パルプ商事株式会社 上場取引所 東
コード番号 8032 URL <https://www.kamipa.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員(氏名) 渡辺 昭彦
問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 藤井 賢一郎 (TEL) 03(3534)8522
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	135,902	8.1	4,654	15.1	5,047	12.7	2,839	△79.6
2023年3月期第1四半期	125,751	23.0	4,044	31.5	4,479	33.3	13,888	114.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 4,914百万円(△67.0%) 2023年3月期第1四半期 14,900百万円(102.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	206.93	206.51
2023年3月期第1四半期	1,012.63	1,010.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	378,019	132,170	32.4
2023年3月期	385,129	128,295	30.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 122,349百万円 2023年3月期 118,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	65.00	—	65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	△11.2	17,000	△19.9	11,000	△56.7	801.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	15,021,551株	2023年3月期	15,021,551株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,303,757株	2023年3月期	1,303,560株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	13,717,850株	2023年3月期1Q	13,714,662株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上収益135,902百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益4,654百万円（同15.1%増）、経常利益5,047百万円（同12.7%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期は当社が東京都中央区に所有する固定資産の一部譲渡に伴う固定資産売却益の計上があったこと等から、前年同期比79.6%減の2,839百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

「国内卸売」

紙は、定期雑誌の休刊や発行部数の減少に加え、デジタル化の進展や企業における販促費抑制の動きから、チラシやカタログ等の商業印刷物の需要が減少したことにより、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

板紙は、物価上昇に伴う買い控え等により通販関連や加工食品向けの需要が減少したことに加え、自動車及び機械関連向けの需要回復の遅れにより段ボール原紙の販売数量が減少した一方、インバウンド需要の回復等により土産物、医薬品及び化粧品向けの白板紙の需要が増加したことから、販売数量は前年同期並みとなりました。

電子部品関連機能材については、半導体をはじめとする電子部品向けの需要減少が継続しているものの、前年同期には中国におけるロックダウンの影響による需要減少があったことから、販売数量は前年同期並みとなりました。

売上収益は、前年度実施した紙、板紙の価格修正により販売価格が上昇したことから、前年同期比10.3%増の48,935百万円となりました。

経常利益は、運賃や倉庫料等の直接費の増加があったものの、売上収益の増加が上回り、前年同期比50.5%増の1,720百万円となりました。

「海外卸売」

主要拠点である米国、英国、豪州において、需要の減少があったものの、前年度中の複数回にわたる価格修正により販売価格が前年同期に比べ上昇したことにより、販売金額は増加しました。一方、本邦からの輸出は、中国や東南アジアにおける需要の減少が継続しており、紙、板紙の販売は数量・金額ともに減少しました。以上の結果に加えて為替換算の影響もあり、売上収益は前年同期比6.3%増の66,603百万円となりました。

経常利益は、人件費や支払利息等の増加があったことから、前年同期比35.8%減の1,474百万円となりました。

「製紙加工」

段ボール事業及び再生家庭紙事業ともに販売数量が減少したものの、段ボール原紙事業及び再生家庭紙事業において前年度に段階的に実施した価格修正により販売価格が前年同期に比べ上昇したことから、売上収益は前年同期比15.3%増の12,822百万円となりました。

経常利益は、段ボール原紙事業及び再生家庭紙事業において原燃料価格や電力価格の高止まりによる製造費用の増加があったものの、売上収益の増加が上回ったことに加えて、コストダウンの取り組みにより、前年同期比49.1%増の1,476百万円となりました。

「環境原材料」

国内、米国ともに古紙の発生数量の減少が継続している状況下、国内古紙事業における販売数量の減少や米国古紙事業における販売価格の下落により、古紙事業全体での売上収益は減少しました。一方、国内、海外製紙メーカー向けのパルプ及び木質バイオマス発電所向けの燃料の販売数量の増加及び販売価格の上昇により、売上収益は前年同期比2.4%増の6,539百万円となりました。

経常利益は、木質バイオマス発電所向け燃料販売事業の売上収益が増加したこと等により、前年同期比1.1%増の535百万円となりました。

「不動産賃貸」

前第1四半期連結累計期間において当社が東京都中央区に所有する固定資産の一部譲渡を行ったことにより賃貸料収入が前年同期に比べ減少し、売上収益は前年同期比19.7%減の1,002百万円となりました。

経常利益は、売上収益が減少したものの、前年同期において固定資産の一部譲渡に伴う一時費用の発生があったことから、前年同期比75.0%増の380百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、時価上昇に伴い投資有価証券が増加した一方、預金や売上債権が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて7,110百万円減の378,019百万円となりました。

総負債は、未払法人税等や有利子負債の減少等により、前連結会計年度末に比べて10,985百万円減の245,849百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと及びその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べて3,875百万円増の132,170百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表いたしました連結業績予想数値の修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,141	24,017
受取手形及び売掛金	139,528	138,115
棚卸資産	65,430	64,922
その他	5,759	7,023
貸倒引当金	△1,830	△2,078
流動資産合計	240,028	231,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,706	34,575
土地	28,870	29,337
その他（純額）	35,646	35,764
有形固定資産合計	99,222	99,675
無形固定資産		
のれん	3,197	3,451
その他	2,389	2,383
無形固定資産合計	5,586	5,834
投資その他の資産		
投資有価証券	32,893	34,185
退職給付に係る資産	181	182
その他	9,525	8,496
貸倒引当金	△2,366	△2,407
投資その他の資産合計	40,233	40,456
固定資産合計	145,041	145,965
繰延資産	61	56
資産合計	385,129	378,019

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	104,714	103,767
短期借入金	48,400	45,294
1年内返済予定の長期借入金	12,469	12,360
未払法人税等	10,890	1,266
引当金	2,788	1,620
その他	13,196	16,168
流動負債合計	192,456	180,477
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	18,018	16,879
引当金	721	715
退職給付に係る負債	1,511	1,986
その他	14,128	15,792
固定負債合計	64,378	65,373
負債合計	256,834	245,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,649	16,649
資本剰余金	6,988	7,142
利益剰余金	89,717	91,747
自己株式	△4,944	△4,945
株主資本合計	108,410	110,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,947	8,417
繰延ヘッジ損益	△6	5
為替換算調整勘定	2,998	3,326
退職給付に係る調整累計額	7	7
その他の包括利益累計額合計	9,946	11,756
新株予約権	76	76
非支配株主持分	9,864	9,745
純資産合計	128,295	132,170
負債純資産合計	385,129	378,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上収益	125,751	135,902
売上原価	105,847	114,601
売上総利益	19,904	21,301
販売費及び一般管理費	15,860	16,647
営業利益	4,044	4,654
営業外収益		
受取利息	137	218
受取配当金	410	560
持分法による投資利益	192	93
その他	146	329
営業外収益合計	885	1,199
営業外費用		
支払利息	360	772
その他	90	34
営業外費用合計	450	806
経常利益	4,479	5,047
特別利益		
投資有価証券売却益	21	34
抱合せ株式消滅差益	-	22
固定資産売却益	16,770	15
特別利益合計	16,791	70
特別損失		
固定資産処分損	48	27
関係会社株式売却損	245	-
投資有価証券評価損	10	-
その他	0	0
特別損失合計	303	27
税金等調整前四半期純利益	20,966	5,091
法人税、住民税及び事業税	8,938	1,157
法人税等調整額	△2,073	814
法人税等合計	6,866	1,970
四半期純利益	14,100	3,120
非支配株主に帰属する四半期純利益	212	282
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,888	2,839

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	14,100	3,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△547	1,425
繰延ヘッジ損益	△4	12
為替換算調整勘定	1,506	301
退職給付に係る調整額	1	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△157	57
その他の包括利益合計	799	1,793
四半期包括利益	14,900	4,914
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,619	4,649
非支配株主に係る四半期包括利益	281	265

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙加工 (百万円)	環境原材料 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上収益								
顧客との契約から 生じる収益	44,358	62,639	11,121	6,385	—	124,503	—	124,503
その他の収益	—	—	—	—	1,248	1,248	—	1,248
外部顧客への 売上収益	44,358	62,639	11,121	6,385	1,248	125,751	—	125,751
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	1,772	111	943	1,333	24	4,183	△4,183	—
計	46,130	62,750	12,065	7,718	1,272	129,934	△4,183	125,751
セグメント利益 又は損失 (△)	1,143	2,297	990	530	217	5,178	△699	4,479

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益36百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙加工 (百万円)	環境原材料 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上収益								
顧客との契約から 生じる収益	48,935	66,603	12,822	6,539	—	134,900	—	134,900
その他の収益	—	—	—	—	1,002	1,002	—	1,002
外部顧客への 売上収益	48,935	66,603	12,822	6,539	1,002	135,902	—	135,902
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	2,113	53	969	1,553	24	4,712	△4,712	—
計	51,048	66,656	13,791	8,092	1,026	140,614	△4,712	135,902
セグメント利益 又は損失 (△)	1,720	1,474	1,476	535	380	5,586	△538	5,047

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益506百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。